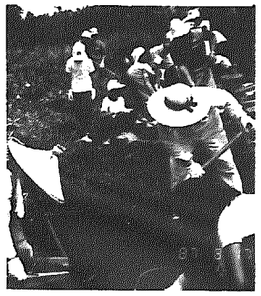
姉妹町村 美浦村のホット情報

〝陸平貝塚〟の保存と活用を考える『文化のまちづくりフォーラム』開催

〝陸平貝塚―歴史遺産の保存と活用から地域文化創造〟をテーマに、「文化のまちづくりフォーラム」が、昨年十一月二十二日と二十三日に美浦村中央公民館で開催されました。

このフォーラムは、日本考古学の原点であり、美浦村が全国に誇れる縄文遺跡「陸平貝塚」の今後の活用をみんなで考え、住民と行政が一体となり、地域文化の創造を目指して行われたもので、講演やパネルディスカッションのほか、この貝塚に関する土器などの考古資料、貝塚周辺の自然標本、全国の十市町村の遺跡の保存や活用事例に関するパネルなどが展示され、古代の文化に触れようと多くの人たちが詰めかけました。

議論を深めたパネルディスカッション


陸平貝塚の発掘作業

平成十年度陶芸教室会員募集

▼申込期限　三月十六日（月）
▼経　費　会費（月千円）及び実費負担
▼申込先　老人福祉センターまで（☎三八五―四三二一）

※性別、年齢等、特に制限はありませんが、町内在住者に限ります。

（横越陶友会　代表　三原利春）

耳よりな情報
～広域情報ネットワーク～

〈新潟市〉
'98にいがた冬・食の陣　『当日座』
▶期日　2月7日(土)・8日(日)　午前11時～
▶場所　古町通り、万代シティ　ほか
▶内容　・4か所の特設会場で、おいしい環日本海料理鍋（柳都鴨鍋、ボルシチほか）が味わえます。
・協賛イベントとして、「磐越道沿線市町村物産展」と新潟の物産品・特産品を集めた「食の大物産市」も開催。
※週間座(～2月28日)・月間座(～3月30日)等もあります。
▶問い合わせ　新潟の食市食座実行委員会　☎222－6667

〈新津市〉
磐越西線ＳＬ運行・にいつ鉄道まつり
○磐越西線ＳＬ運行
・期日　3月14日(土)～16日(月)一日一往復
上り　新津駅 8:19発→津川駅10:08着
下り　津川駅15:21発→新津駅16:56着
※ＳＬ乗車券は、出発日の1か月前から発売。
○にいつ鉄道まつり
・期日　3月14日(土)・15日(日)
・内容　ミニＳＬの運転、テント市、有名駅弁の販売、お楽しみ抽選会など。
▶問い合わせ　新津市役所　農・産業振興課　観光交流係☎0250-24-2111

子ども教育相談室
～子どもの教育の悩みは自分一人で悩んでいないで、お気軽にご相談ください～

町教育委員会では、児童・生徒の一人ひとりが楽しく学校生活を送れることを願って「子ども教育相談室」を開設しています。

教育相談員がいじめ・登校拒否の問題や広く教育に関する心配ごとの相談に応じます。

相談内容の秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

◆相談日時
月・水・金曜日
午前9時～12時

◆来所相談
横越町総合体育館内「子ども教育相談室」
※事前に連絡してからお出かけください。

◆文書相談
〒950－0204
横越町大字横越4545
総合体育館内「子ども教育相談室」

◆電話相談
☎385－4477

12月資源ごみ収集実績

空きびん	5.4 t
空き缶	3.6 t
古紙	17.5 t
合計	26.5 t

2月資源ごみ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	3日(火)
	17日(火)
その他の地区	5日(木)
	19日(木)

ふる里物語　町史編さんだより㊶

明治期に方言撲滅の危機
横越尋常小学校でも方言訛音矯正を指導

'97日本新語・流行語大賞に「失楽園」が選ばれました。このように私たちの身の回りでは新しいことばが次々と生まれ、日本の伝統的な方言が次第に衰退しつつあります。

明治に入って近代国家樹立のために、国語の統一の必要性が叫ばれ、方言は撲滅の危機に直面しました。

明治三十五年、文部省は国語調査審査会を設置して、標準語（東京語を土台）の選定を目的に、全国方言調査を企画し、各府県に調査を求めました。これを契機に明治後期には、教育界を中心に方言訛語調査の機運が興り、各地で方言の蒐集が行われました。

大正十一年横越尋常小学校で『方言訛音調査并矯正法』という指導書が発刊されました。これは明治四十五年に横越地方六校連合教授法研究会が方言訛音を蒐集したものに基づいて編さんされたものですが、ここには方言訛音の矯正方法がきめ細かく掲載されており、横越町でもかつて徹底した方言の撲滅が行われていたことが伺われます。

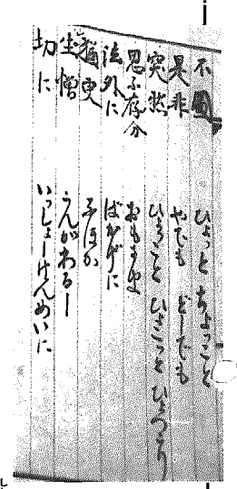
一例を紹介しますと、

方言を矯正すべき機会

・校内における総ての談話、綴り方・読み方の教授の際。
・その他筆記物検閲の際。

などに、標準語と対照訂正をする。

「方言訛音調査并矯正法」冊子（左）と「発音練習栞」（右）


「方言訛音調査并矯正法」の冊子の中身

訛音を矯正すべき機会

・唱歌及び読み方の教授の際には、厳密に注意する。
・談話や児童の遊戯、看護の際には、事情の許す限り矯正に努める。

方言訛音の矯正方法

・方言と標準語の対照表を適宜の場所に掲示すると同時に印刷して保護者に配付。
・校内に「発音矯正図」を掲げ、必要に応じ指示、練習させる。
・「発音練習栞」を児童各自に配付し、これを教科書の中に挿しておき、家庭における復習の際練習させる。
・唱歌や読み方教授時間に終始数分間は、必ず「発音矯正図」により、誤りやすい音の斉唱、合唱等により練習させ、それを怠らないよう努める。
・父兄談話会・保護者の会合等には、常に学校の矯正方針を指示し、家庭の注意を促す。

方言は、私たちの毎日の生活ことばです。伝承言語は民俗的にも貴重です。衰退しつつも、私たちの生活の中に根強く存在していくものと思われます。

（民俗部会　泉沢宏一）

ご厚志に感謝

町に、次の方々より社会福祉に役立ててほしいと寄付がありました。

ＪＡ亀田郷みなみ横越女性部（代表　江口悦子）様より、農業祭の収益金の一部三万円。

横越中地区青少年育成会（会長　藤田正明）様より、「スルメ募金」の売上金の一部三万円。

ご厚志に感謝します。

俳句（公募作品　高点句者）

句題　氷柱・雑炊・寒椿

不自由も自由も一人菜雑炊（二本木）小林千恵子
枯るるもの枯れて色濃き寒椿（木津）坪谷耕雨
雑炊をすすりて夫唱婦随かな（木津）坪谷いわお
大氷柱落して終わる寺掃除（沢海）佐藤豊吉
遅れ着く上りの貨車の氷柱かな（横越）細山両子
駆けつけた獣医が潜る軒つらら（横越）高橋鴉子
通夜の灯のとどく庭先寒椿（二本木）藤崎春月
寒椿火遊びほどの夕茜（横越）谷井野武士
碧い空映して氷柱落ちにけり（木津）今井天花
滝氷柱土産屋ねむる昼さがり（二本木）今井峰雪